

昭和53年度

ガンカモ科鳥類調査報告書

昭和54年3月

福 井 県

福井県内に渡来する代表的なカモ類



マガモ



コガモ



ヒドリガモ



ヨシガモ



ホシハジロ



キンクロハジロ

福井県内越冬する水鳥の調査結果
は じ め に

この調査は、ガンカモ科鳥類の冬期の生息状況を明らかにし、鳥獣行政に必要な資料とするため福井県の委託により、本会が昭和53年度の事業として実施した結果をとりまとめたものである。

報告書をまとめるにあたり、調査の指導にあられた福井県自然保護課および協力をいただいた鳥獣保護員各位にお礼を申し上げる次第である。

昭和54年3月

日本野鳥の会福井支部

1. 調 査 の 概 要

(1) 経 過

この調査は、昭和44年度から林野庁（48年から環境庁）の指示により毎年1月17日を中心に全国一斉に実施されてきたもので、今回は10回目である。

昭和52年度からは本会にその事業が委託され、本会の主要な調査事業として取り組んでいる。

(2) 調査の目的

別記実施要領参照

(3) 調査の時期

全国一斉調査日は、ガンカモ科鳥類の越冬期のうち、生息状況がもっとも安定している時期ということで指定されているが、本県での調査はその日を中心に調査員の動員可能な休日をあてた。

(4) 調 査 地

調査地は福井県から指定された湖沼、河川、港湾等の狩猟制限区域等14箇所で開催した。（第1表参照）

(5) 調査の方法

調査は、各調査地に2～5名の調査員を配置し、双眼鏡（7～8倍）及び望遠鏡（25～30倍）を使用し、数取器により種類別に数を克明に記録した。

調査法は、調査地が展望できるものは定点調査（各箇所1～2点）。範囲が広い場所は定線調査とした。

(6) 調 査 員

調査員は、ガンカモ科鳥類の識別力のある会員を責任者にあて、延32名がこの調査に従事した。

2. 調 査 の 結 果

調査の結果、カモ類 17 種、不明種 1 種（遠距離のため種名が判定できなかったもの）、ガン類不明種 1 種（前同）、総数 15,306 羽を記録した。

調査地ごとの記録数の不確実なものは集計数から除いたほか、調査員が記録した詳細なデータは割愛した。（第 2 表参照）

今回の調査では、前年に続いてハクチョウ類は記録がなく、ガン類は 2 年ぶりに調査地上空を通過するものが記録できた。

今年は昨年に続いて暖冬が続き、カルガモをはじめ、コガモ、マガモ等が暖地への移動が少なかったためか、総数において昨年の 2 倍も記録された。積雪や水面の氷結もなく、調査条件が良好で精度の高い記録ができたことも幸いであった。

ただ、和泉村の九頭竜湖は、当日降雪が続き、視界不良で調査ができなかった。

この調査地は、冬期水量が少ないうえ、湖岸の視界が悪く、船上からの調査によらなければ正確に記録できない欠点があり、敦賀市の池の河内とともに調査が困難な所である。

次に、今回の調査結果を考察すると、種類数ではほぼ例年並で、特に珍しいものは記録されなかった。

調査地ごとには、北潟湖ではカルガモの筆頭数は当然として、マガモの記録が全くないのは意外であった。ヒドリガモの群れは比較的珍らしく、トモエガモ・ヨシガモとも県内では少ないカモが見られた。ミコアイサ・ホオジロガモは県内では最も多く見られる場所である。

福良ヶ池は、北潟湖に面した池で、時にはミコアイサの美しいオスやキンクロハジロ・マガモ等が多く見られるが、道路に面しているためか、落ち着きがなく、数にムラが多い場所である。

大堤は、年々減少、貴重な場所だけに積極的な保護対策が望まれる。

クロガモは、これまでの調査地では昨年度に続いて記録された数少ない鳥で

ある。

以上が本年度調査結果の考察であるが、最近県内の湖沼、河川はいずれも改修工事等が行われており、湖岸や河床の形状や植生も失われており、水鳥の生息環境は悪化している。

特に観光地の周辺では、自然景観の一点景としても水鳥の飛来は、その地域の自然度の高さを表わし、イメージアップにも大きな役割りを果たしているので、冬期間の観光資源の一つとしても地元において積極的な保護対策を講じるべきである。

漁業関係者の間では、カモ類が多く飛来すると、漁業資源が荒されると反対する意見もあるが、動物性食餌のカモ類は少数で、多くのものは夜行性で昼間は休息のため集まるものであり、採食するものは、水草や泥中の動物や有機物が主で動物生態系からみても、多様な動物が見られる自然環境はそれだけ自然度が高いことをあらわすものである。

特に水質の汚濁等が問題になっている内水面では、あらゆる動植物が安定して生息しうる環境づくりを必要とする。

水鳥の生息は、その水域の自然度をあらわすバロメーターとして、今後注目してゆきたい。

九頭竜川は、嶺北では最も多い場所で、コガモ・カルガモ・マガモが中心、カワアイサは県内唯一の場所である。

日野川は、河川改修が行われているものの、長らく銃禁区が続き、近くに採餌場も多いため安定した場所である。

猪ヶ池は、水面が小さい割に数が多い。特に海に近いため荒天時の避難場所としても恰好の池で、厳重な保護を続ければさらに多くの種類も飛来するものと思われる。

池の河内は、山間部の池で、水草などが多く観察が困難な場所である。積雪が多い時には水面が埋れて、カモ類は飛来しない。

三方五湖のうち、日向湖は、蓄養漁業が行われており、カモ類はほとんど渡来しない。

菅湖・久々子湖は、種類・数ともに多く県内一級地で貴重な場所、オシドリ

が多い。

昭和53年度ガンカモ科鳥類の生息調査実施要領

1. 調査の目的

最近におけるガン、カモ、ハクチョウ類の冬期の生息状況をは握し、鳥類保護行政に必要な資料とする。

2. 調査の主体

調査の主体は、都道府県とする。

3. 調査区域

各都道府県の区域（海域を含む。）とする。

4. 調査地の選定及び調査の方法

- (1) ガン、カモ、ハクチョウ類の渡来地について、種別に個体数を調査する。
- (2) 調査員には鳥類の判別に堪能な者をあて、事前に過去の調査に基づいて、調査地区を含め、調査地区ごとに調査員を配置して、調査洩れを防止するとともに調査精度の向上に努めるものとする。

5. 調査日

調査日は、昭和54年1月16日（火）とする。ただし、天候等の都合により指定日における調査が不可能な場合は、1月15日又は1月17日に実施して差し支えない。

6. 調査の取りまとめ

調査結果の取りまとめは、次の調査書により行う。（調査書様式は省略）

昭和53年度ガンカモ科鳥類生息調査地



表1 第

昭和53年度ガンカモ科鳥類の生息調査実施要領

昭和53年度ガンカモ科の

調 査 地				調 査 面 積	鳥等 獣の 保 護 区 分	調 査 人 員	調 査 員 代 表	調 査 月 日	天 候	ガン類	
郡 市	町 村	地 名	地 況							不 明 種	計
坂井郡	芦原町	北潟湖	湖	230 ^{ha}	保	人3	北 川 賀 文	1.15	くもり 時々雪		
"	"	福ヶ良池	池	4	銃	3	榎 本 二 郎	"	雪 時々晴		
"	三国町	大 堤	"	9	保	3	池 崎 和 男	"	くもり 時々雪		
福井市	高木町	九 竜 頭 川	河 川	150	"	3	吉 村 芳 武	"	"	30	30
大野郡	和泉村	九頭竜 夕ム	人工湖	50	"	1	八田七郎右エ門	"	雪		(調
武生市	瓜生町	日野川	河 川	200	銃	4	"	"	小 雪		
敦賀市	明神町	猪ヶ池	池	5	保	4	門 前 孝 也	"	くもり		
"	池河内町	池河内	"	5	"	4	田 結 利 貞	"	"		
三方郡	美浜町	久々子 湖	湖	150	"	2	田 辺 幹 雄	"	"		
"	"	日向湖	"	50		2	"	"	"		
"	三方町	水月湖	"	400	保	2	辻 義 次	"	"		
"	"	三方湖	"	300	"	2	"	"	"		
"	"	菅 湖	"	120	"	2	山 崎 芳 昭	"	晴 時々曇		
小浜市	甲ヶ崎	小浜湾	海 面	650	銃	2	"	"	"		
合 計 (1 4 ヶ 所)				2,323		37				30	30

第2表(福井県)

鳥類の生息調査実施結果表

カ																		
---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

第3表

ガンカモ科鳥類生息調査年度別実施状況

福井県

区分 調査年度	調査 場所	調査 対象 面積 ha	調査 人口 人	調 査 結 果				備 考
				ガ ン 類 参 考 種	カ モ 類 資 料 種	ハクチュウ 類 羽	計 羽	
44	ヶ所 6	1,198	22	0 0	9 3,063	1 4	10 3,067	ヘクタール 当り生息数 2.5
45	12	2,481	35	1 130	10 4,315	0 0	11 4,345	1.6
46	12	2,284	42	0 0	14 3,952	0 0	14 3,952	1.7
47	16	3,400	74	0 0	16 6,682	0 0	16 6,682	1.9
48	14	2,725	78	1 50	15 12,232	1 1	17 12,291	4.5
49	11	2,725	59	0 0	15 10,503	0 0	15 10,503	3.8
50	14	2,677	83	0 0	15 16,800	0 0	15 16,800	6.2
51	9	2,395	46	1 8	14 6,164	0 0	15 6,172	4.4
52	9	2,184		0 0	15 7,653	0 0	15 7,653	3.5
53	13	2,273		0 0	18 15,306	0 0	18 15,306	6.7
54				2 226	23 86,540	1 5	26 86,771	

この資料は、昭和44年度から
昭和53年度までの調査記録を
まとめたものである。

ガンカモ科鳥類生息調査年度別実施状況

福井県

区分 調査 年度	調 査 個 所	調 査 対 象 面 積	調 査 人 口	調 査 結 果				備 考
				ガ ン 類	カ モ 類	ハクチョウ 類	計	
				種 / 羽	種 / 羽	種 / 羽	種 / 羽	
4 4	ヶ所 6	ha 1,198	人 22	0 / 0	9 / 3,063	1 / 4	10 / 3,067	ヘクタール 当り生息数 2.5
4 5	12	2,481	35	1 / 130	10 / 4,215	0 / 0	11 / 4,345	1.6
4 6	12	2,284	42	0 / 0	14 / 3,952	0 / 0	14 / 3,952	1.7
4 7	16	3,400	74	0 / 0	16 / 6,682	0 / 0	16 / 6,682	1.9
4 8	14	2,725	78	1 / 58	15 / 12,232	1 / 1	17 / 12,291	4.5
4 9	11	2,725	59	0 / 0	15 / 10,503	0 / 0	15 / 10,503	3.8
5 0	14	2,677	83	0 / 0	18 / 16,800	0 / 0	18 / 16,800	6.2
5 1	9	2,395	46	1 / 8	14 / 6,164	0 / 0	15 / 6,172	4.4
5 2	9	2,184	33	0 / 0	18 / 7,653	0 / 0	18 / 7,653	3.5
5 3	13	2,273	32	1 / 30	17 / 15,276	0 / 0	18 / 15,306	6.7
計				2 / 226	23 / 86,540	1 / 5	26 / 86,771	

ガンカモ科鳥類生息調査年度別合計表

番号	種 名	調 査 年 度										計
		44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	
1	ガ マ ガ ソ	—	130	—	—	—	—	—	8	—	—	138
2	ソ 不 明 種	—	—	—	—	58	—	—	—	—	30	88
	類 計	—	130	—	—	58	—	—	8	—	30	226
3	オ シ ド リ	18	168	100	50	51	51	84	33	48	110	713
4	マ ガ モ	187	776	915	1,736	2,436	3,033	6,345	3,220	1,887	3,394	23,929
5	カ ル ガ モ	516	980	731	1,625	5,994	2,219	3,573	1,245	2,695	4,930	24,508
6	コ ガ モ	2,012	631	1,923	2,612	3,082	3,989	5,700	1,178	1,845	3,839	26,811
7	ト モ エ ガ モ	60	—	2	19	25	3	100	1	4	18	232
8	カ ヨ シ ガ モ	57	84	19	26	2	5	23	—	13	38	267
9	オ カ ヨ シ ガ モ	—	—	—	3	—	—	4	—	2	—	9
10	ヒ ド リ ガ モ	37	560	25	49	59	5	110	109	116	374	1,444
11	オ ナ ガ ガ モ	—	—	1	6	22	24	25	11	15	487	591
12	ハ シ ビ ロ ガ モ	—	—	—	2	3	92	115	5	2	18	237
13	ホ シ ハ ジ ロ	141	528	27	188	157	751	197	242	458	837	3,526
14	モ キ ン ク ロ ハ ジ ロ	35	486	67	312	371	288	263	109	375	925	3,231
15	ス ズ ガ モ	—	—	—	12	10	—	—	4	98	195	319
16	ク ロ ガ モ	—	—	—	—	—	—	—	—	3	6	9
17	ホ オ ジ ロ ガ モ	—	—	1	—	—	5	3	1	47	21	78
18	ミ コ ア イ サ	—	—	19	3	2	22	35	1	36	66	184
19	ウ ミ ア イ サ	—	—	—	—	—	—	6	—	2	4	12
20	カ ワ ア イ サ	—	1	22	9	9	6	2	5	7	11	72
21	ア カ ハ シ ハ ジ ロ	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	1
22	ア カ ツ ク シ ガ モ	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	1
23	不 明 種	—	—	100	30	9	10	214	—	—	3	366
	計	3,063	4,215	3,952	6,682	12,232	10,503	16,800	6,164	7,653	15,276	86,540
24	ハ ク チ ョ ウ 類	4	—	—	—	1	—	—	—	—	—	5
	計	4	—	—	—	1	—	—	—	—	—	5
合 計		3,067	4,345	3,952	6,682	12,291	10,503	16,800	6,172	7,653	15,306	86,771

(注) 各年度毎の調査地、および調査箇所等は一定していない。

あ と が き

今回の調査は、各調査地ともベストメンバーが協力して精度の高い調査を行い、数多くの成果をあげた。調査野帳は後日のデーターとして保存し役立てたい。

とかく、鳥類の生息状況についての資料が不足しているといわれているとき、この調査資料のはたす役割りは、大きいものと思われる。

協力者各位に厚くお礼を申しあげる次第である。

調 査 協 力 者

(五十音順)

池 崎 和 男 ・ 榎 本 二 郎 ・ 大 塚 真 史
 北 川 賀 文 ・ 久保上 宗次郎 ・ 幸 道
 生 水 俊 一 ・ 高 田 雄 治 ・ 田 辺 幹 雄
 田 結 利 貞 ・ 辻 義 次 ・ 中 林 良 介
 八田七郎右エ門 ・ 林 武 雄 ・ 広 瀬 義 雄
 門 前 孝 也 ・ 山 崎 芳 昭 ・ 吉 村 芳 武 ほか
 (写真 辻・林)

〒 910 福井市照手 1 丁目 5 - 1 4

(中林方)

日本野鳥の会福井支部